

小菅ヶ谷北公園だより

もう晩秋の時期ですが寒暖差のある日が多く、20度を越す記録的な暑さも観測されています。

皆様体調の管理に十分気を付けてお過ごしください。

公園にはいつも越冬に来る虫や鳥の他に、普段は見かけなかった南方の生き物たちも姿を見せています。

季節のいきもの

丸太をくり抜いて作ったフクロウの巣箱を展望広場奥の椎の木に付けました。

フクロウは12月～1月に営巣する場所を探して、3月ごろから営巣を始めます。

毎年フクロウの鳴き声が聞こえている場所なので、入ってくれることを願っています。



リュウキュウサンショウクイです。

展望広場に来ていました。

小菅ヶ谷で見ることができたのは初めてです。

もともとは沖縄の固有種でしたが1990年ごろから他県でも見られるようになり、最近では関東にも姿を見せるようになりました。



ニホンヤモリがブロックの隙間から顔を出していました。ヤモリはカエルやトカゲと違い冬眠はせず、寒い時期はこういった場所でジッと動かず過ごしています。

ニホンヤモリという名前ですが最近の遺伝子解析で約3000年前に中国から人と共に渡ってきた外来種だったことが分かってきています。

小菅ヶ谷北公園

<http://www.kosugayakitapark.com/>

指定管理：奈良生駒植木共同事業体

横浜市

栄区小菅ヶ谷4-31

管理棟 ☎ : 045-891-1151

バーベキュー ☎ : 050-5835-0493

公園Instagram

